



- 1 **羅針盤** 新たな試みで新型コロナに打ち勝つ
- 3 完璧な「雨仕舞」は家の長持ちの必須条件
- 4 「赤外線漏水調査システム」は雨漏り調査の決定版
- 6 今や「足場パック」の目玉商品に
- 7 「地域のホームドクター」として活躍する木材劣化診断士
- 8 注目される自然石調の仕上がり
- 9 マンション全体で新型コロナ対策「していない」5割強
- 10 外出自粛下の引っ越し、「内見できなかった」が68% S-FIT 調べ

## 新たな試みで新型コロナに打ち勝つ



### ウイルスを正しく恐れながら経済を動かす

新型コロナウイルスの猛威、脅威は、歴史上の大事件であり、全人類は未曾有のウイルスからの挑戦を余儀なくされております。

日本国内では、2019年末から感染が始まったとされていますが、情報ばかりが錯綜して、混乱を招いたことも事実だと思います。

詳細は、割愛させていただきますが、今回の騒動では、いろいろな学びがあり、現在もいろいろな試み、即ち、実証実験の途上にあります。

しかし、教訓としては、「人間の尊厳」「生命の尊厳」を無視して、行動方針を打ち出すことができないことが根底にあることを、改めて感じました。

何故かといえば、人で成り立っている世界、社会において、人間のありようを軽視しての社会建設はできないということです。この世の中は、まず人間ありきという観点に立脚せねばならないからです。

つまり、結論から言うと、新型コロナウイルスを、必要以上に恐れず、経済をどんどん動かし、生活の基盤を取り戻しましょう。ウイルスは、正しく恐れて、恐怖に飲み込まれないようにすることを考えねばなりません。

人間の生命を守ることと同様に、企業の命も大切なのです。言い換えれば、人間が生き永らえるためには、経済活動を止めることはできないのです。綺麗事は言えません。

仮に、もし、ウイルスに感染しないで生き残ったとしても、経営している会社や勤務先がつぶれて、先行きを悲観して自殺などをしてしまったら、元も子もないのです。

病気に殺されるか、不況に殺されるかという、不幸の二者択一にしかならないのです。

## 仕事は不要不急ではなく、必要至急！

人類が誕生した時から、我々はウイルスと戦ってきました。今回の新型コロナウイルスがもたらす試練は、全人類がこれまで幾度となく経験してきたことです。

誰もが、我が事として、ウイルスに立ち向かわなければなりません。そして、生き永らえるために、ウイルスを正しく恐れ、賢明な判断と行動で、生きるための活動、即ち、仕事をしなければなりません。

ウイルスを正しく恐れるには、まず、ウイルスに感染しない、感染させないという意識を高く持ち、手洗い・うがい・消毒の励行と、「3密」回避の徹底実行が肝心です。

弊社ではこの約束を、2月より合言葉として継続しています。お陰さまで、躍進関係者および関係先からは、感染者は1人も出していません。有難いことです。

先ずこの点に深く感謝したいです。そのなかで、現場仕事も工期厳守を実現できていることに、さらに感謝したいです。

しかし、それは、過去の受注残を消化しているに過ぎないのです。これから夏までと、夏以降の受注獲得が未来の明暗を分けるので、まさに油断大敵で、安堵に浸ることはできません。

時を待たずに経済はどん底にまで落ち込むでしょう。日本国内だけではなく、全世界の、あらゆる業種に不況が訪れます。

まずは、この危機をどのように乗り越えるかが、我々の最優先課題です。

それには、まず、ウイルスを正しく恐れるべきです。そして、賢明な判断と行動で、生きるための活動、即ち、仕事をしましょう。

不要不急の意味は、重要でなく、急ぎでないことです。そして、言うまでもないことですが、いかなる仕事も、不要不急ではありません。必要至急なのです。必要至急な仕事を、どんどん実行していこうではありませんか。

## 躍進とともに、イノベーションの実行を！

今回の緊急事態宣言により、「ステイホーム」を余儀なくされ、子供も大人も皆、戸惑っています。何をしても良いか分からず、ストレスが溜まる一方です。

その反面、オンライン授業や、テレワーク等、新たなる取り組みも実施されており、良い傾向であります。まさしく、イノベーションそのものだと思います。

ちなみに、私は、飲食業の経営者仲間が多いのですが、飲食業を営む友人より、テイクアウト、宅配も開始したという案内が来ました。これもイノベーションです。

新たなる試みではありますが、「嘆いても、他者へ責任転嫁できないし、来客がダメなら、テイクアウトと宅配でしか生きる道がないので宜しく願いしたい」と、力強く言われ、感動しました。まさしく、レジリエンス力（困難を跳ね返す力）を教えてくださいました。

もちろん、飲食業だけでなく、我々建設業関係者も、新たなる挑戦、イノベーションをする時です。

我々建設業関係者は、受注先行して、先読みができ、経営計画策定ができます。それを踏まえて、知恵と工夫を凝らし、このような状況だからこそ、これをチャンス到来と捉えて、新たなる挑戦としたいものです。

OB客に、住まいの困りごとの有無を電話で聞き取り（マーケティング）したり、DMの活用を積極的に実施したりしてはいかがでしょうか。

その中で、躍進にお手伝いできることは、どんなことでもご相談ください。

弊社は、「地域のホームドクター」として、住まいの点検・診断をはじめ、木材の延命施工（防蟻・防腐）、外壁の塗装工事、バルコニー防水工事、シーリング工事、そして新たな取り組みで、排水管洗浄（人気事業です）等、常時施工をさせて頂いています。

このような時だからこそ、共に力を合わせて、新たな取り組みで活路を見出して、新たな展開をして、協力体制を強化したいと切望いたします。

遠慮なく何でもご相談ください。ご都合がよろしい日時をご連絡頂けましたら、お客さまの地域担当がお伺いさせていただきます。ご連絡をお待ち申し上げます。

### 完璧な「雨仕舞」は家の長持ちの必須条件



梅雨のシーズンにおいて、最も重要なのが、万全な雨仕舞の実施です。

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」では、外壁塗装のメニューに加えて、壁体内への雨水侵入を防ぐクラック（上写真参照）補修をお薦めしています。

クラックやサッシ周りの傷みによって、壁体内に雨水が浸入し、そのままにしておけば、シロアリや腐朽菌を発生させます。特に、腐朽菌は、木材の主成分であるセルロースやヘミセルロースなどを分解して、木材を多孔質に変化させ強度を下げるのです。

処置における最大のポイントは、コーキング剤を奥まできちんと行き渡らせて埋めることです。そのうえで、補修跡が目立たないようにぼかしながら丁寧に塗装します。もちろん、元からある模様やデザインも考慮し、コーキング剤の充填、外壁塗装をします。

複雑なクラックの場合は、外壁に溝を作ってクラックを埋める処理方法も用います。そして、何よりも再発しないようにすることが重要です。

シーリングの後、躍進がお薦めしている弾性系塗料で肉厚な塗装を行えば、クラックの再発はほとんどありません。



また、雨仕舞の一環としてドレン清掃を実施しております(上写真参照)。

バルコニーのドレン部分に溜まった枯葉や塵芥をそのままにしておきますと、台風やゲリラ豪雨の際オーバーフローを起こし、バルコニーの劣化を促進させるのです。

雨仕舞を確実なものにする塗装・メンテナンスを「足場パック」で実施してください。ご連絡をお待ちしております。

### 「赤外線漏水調査システム」は雨漏り調査の決定版

もし雨漏りの疑いがあるのなら、梅雨のシーズンを迎える前に、必ず調査を実施してください。

### 散水調査と水張り調査

散水調査とは、雨漏りが発生していると思われる箇所に、雨天時と同じ状況となる散水を実施し、雨漏りを再現させ、原因を特定する方法です。

これは、一見単純な作業のように見えますが、建物の構造を熟知したプロでなければ、漏水箇所の特定判断ができない難しい調査なのです。

また、水張り調査とは、陸屋根の場合、屋上に水を張って、その溜めた水が下に漏れてきていないかを確認する調査方法です。これも、プロの眼力をもって漏水箇所を特定するのです。

しかし、それでも、原因の特定は、熟練したプロですら難しいものです。原因が特定される保障が無いのです。

すぐに漏水箇所を発見でき、簡単な処置によって修繕できるケースもあれば、調査を繰り返してやっと発見できる場合もあります。

原因が特定できなければ、外壁、屋根、防水等の全体改修を実施しなければなりません。しかし、それではコストも時間も、かかりすぎてしまうのです。

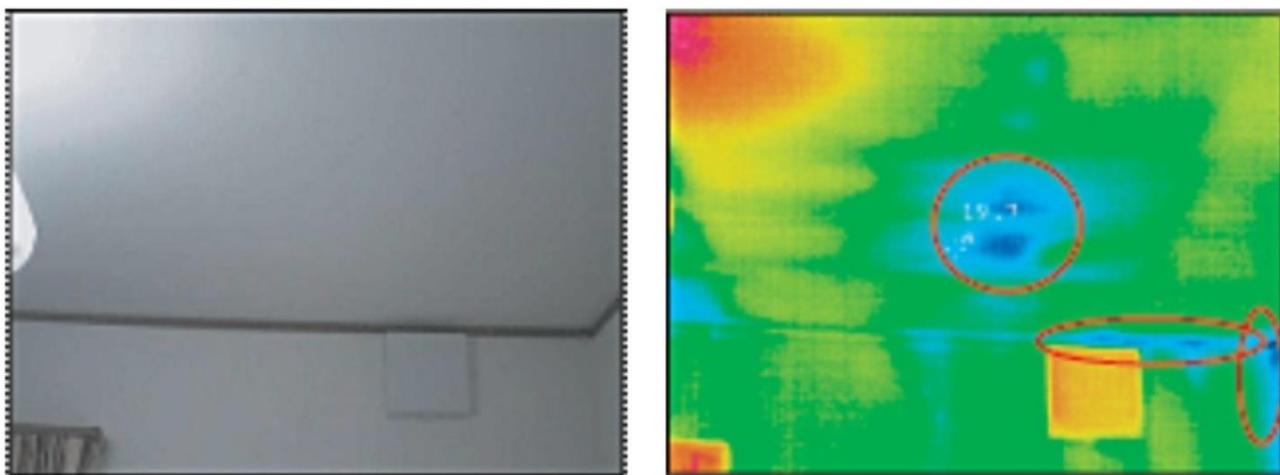
### 赤外線を生かして調査精度を確かなものにする

専門の調査会社が、調査・補修をくりかえしていながらも、一向に雨漏り被害が改善されないという、そんな悩みを一気に解決したのが、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』です。

赤外線は、温度を持つすべての物体から、その温度に応じた波長分布によって、自然に放射されます。その波長分布を、色画像として示し、様々な状態を分析する装置がサーモグラフィです。そのため、今まで発見できなかった雨漏りの侵入口も明確に特定することができます。

サーモグラフィの特徴は、広い面積を同時に捉えることができるため、モニター上に映し出される温度の相対比較をひと目で分析できます。

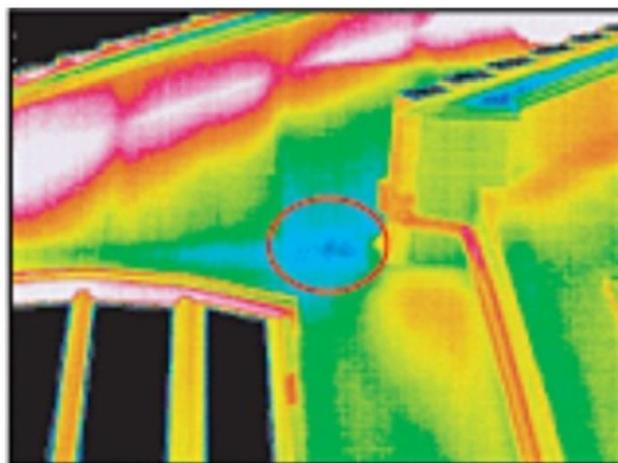
サーモグラフィは、対象物から離れて温度測定ができるため、動いているものや、近づくことができない危険なものでも簡単に温度計測・分析することができます。



例えば、上の2枚の写真は、天井の一部と天井と壁の間が漏水している写真です。

サーモグラフィ上では、部屋全体の温度は緑色で表示されています。

そして、暖房などで室内が暖まると赤色に変化します。しかし、**漏水箇所は水色で表示される**のです。サーモグラフィ上では、丸で囲った部分には、水色を通り越して、濃い青色が示されており、ここが漏水箇所であることが分かります。



また、**上の2枚の写真**は、外壁に放水後、表面が乾いてから、サーモグラフィで計測したもので、下屋の雨どい脇に、赤外線画像では濃い青色が示され、その部分に水が蓄積していることが確認できるのです。

まさに、『赤外線漏水調査システム』は、熟練のプロの技を確かなものにする最高のアイテムといえます。

雨漏り調査・修繕にかかるコスト・時間を、合理的に縮小・短縮できるのは『赤外線漏水調査システム』しかありません。

ご依頼、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

### 今や「足場パック」の目玉商品に

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」は、現在サマーキャンペーンの真っ最中です。その目玉商品こそ『飛驒炭床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(次ページ写真参照)です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。



『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気（新方式）により1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。それにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

「地域のホームドクター」として活躍する木材劣化診断士



これまでにご紹介を重ねてまいり、すっかりおなじみになりました**木材劣化診断士**ですが、床下点検に多くの実績がある躍進には現在、4人の木材劣化診断士がおります（**上写真参照**）。

木材劣化診断士は、木材の生物劣化（腐朽と虫害）の診断技術の専門家です。

外構の中心となる木質構造物の生物劣化の現況を診断する様々な能力を持っています。また、補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。

木材劣化診断士が習得した診断技術は、住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と外構の基礎と劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握しています。

## 「住まいの予防医学」を実践

そんな木材劣化診断士は、躍進の「**地域のホームドクター**」として活躍中です。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス（住宅）が健全でなければなりません。肝心なのは、治療だけでなく「**住まいの予防医学**」を実践することです。

その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって食害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

その最前線で活躍しているのが躍進の木材劣化診断士であり、「地域のホームドクター」としての役割を果たしているのです。床下点検からはじまる「住まいの予防医学」は躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください。

## 注目される自然石調の仕上がり

いまや、躍進の外装一式工事を代表する商品としてすっかりおなじみとなりました自然石調の装飾仕上塗材『**エレガンストーン**』（次ページ写真参照）は、自然石の無機系素材がベースで、建物のエントランス部分から、戸建て住宅の外壁にも用いられています。

自然の風合いを活かした意匠性が、壁面を多彩に演出します。



主な特長は以下の通り。

**【意匠性】**

豪華な自然石調の仕上がりが得られます。

**【耐久性】**

無機系素材の使用により耐久性に優れます。

**【超低汚染仕様】**

超低汚染型のクリヤートップを施工することで耐汚染性を向上させることができます。

## マンション全体で新型コロナ対策「していない」5割強

つなぐネットコミュニケーションズ（東京都千代田区）はこのほど、同社が運営するマンション居住者向け情報サイト「マンション・ラボ」の会員に対し、「マンションにおける新型コロナウイルス感染対策」に関する調査を実施し、その結果を発表しました。

居住しているマンション全体で行っている感染拡大防止の取り組みについて尋ねたところ、51.7%が「特に取り組みを行っている様子はない」と回答しました。

取り組んでいることとしては、「注意喚起ポスターの掲示またはビラの配布」（29.1%）、「有施設の使用自粛要請」（20.4%）、「アルコール消毒液などの設置」（12.8%）などが挙げられました。

現在、特に不安に感じていることとして最も多かった回答は「自分や家族の感染」（62.7%）。次いで、「終息の見通しがたたないこと」（59.4%）、「日本経済・景気の悪化・低迷」（53.9%）となりました。

新型コロナウイルス感染拡大にあたり、マンションに住んでいて良かったと思うことを尋ねたところ、「LINE グループを作り情報交換していること」「宅配ロッカーで対面せずに荷物が受け取れること」「マンション内にクリニック・飲食店・コンビニがあり、特に不自由を感じずに済むこと」などが挙げられました。

調査期間は4月9日～26日。主に分譲マンションに住む10～80代の男女2560人を対象に、インターネットアンケートを実施しました。

## 外出自粛下の引っ越し、「内見できなかった」が68% S-FIT 調べ

賃貸仲介店舗「お部屋探し CAFE へヤギメ！」を運営するS-FIT(東京都港区)はこのほど、東京都以外の関東圏在住者で、東京都内への引っ越しを検討していた人を対象に「外出自粛下における引っ越し」に関する調査を実施し、その結果を発表しました。

東京都で新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛要請が出された3月25日から4月28日の間に、引っ越し物件の内見を行うことができたか尋ねたところ、「できた」が32.4%、「できなかった」が67.6%となりました。

内見ができなかった理由としては、「感染予防のため外出を控えた」が63.4%で最多。次いで「引っ越し自体を先延ばしにした」(33.8%)となりました。内見ができなかった人のうち、「本当は内見を行いたかった」と思っている人は83.1%でした。

引っ越し物件を決める際に、オンラインのみで完結する部屋探しを行ったことがあるか尋ねたところ、71.4%が「ない」と答えました。「ない」とした人のうち、オンラインのみで完結する部屋探しサービスを「利用したい」と思っている人は62.7%でした。

オンラインでの部屋探しを「利用したい」と答えた人に対し、オンライン完結型部屋探しサービスによって物件を決めることができそうか尋ねたところ、「思う」が68.1%、「実際にやってみないと分からない」が27.7%、「思わない」が4.2%となりました。

引っ越しにおける内見で、オンライン完結型サービスの選択肢があると便利だと思うかとの問いに対しては、82.8%が「便利だと思う」と回答。「便利だと思う」理由のトップは「わざわざ外に出なくてすむから」(48.3%)。次いで、「1日にたくさんの内見ができるから」(47.1%)、「人に気を使わずに済むから」(42.5%)となりました。

調査期間は5月9日～11日。調査対象は25～35歳の東京都以外の関東圏居住者105人となります。

<p>株式会社 <b>躍進</b></p>	<p>関連会社 株式会社 不動産事業 <b>ヤクシンジャパン</b></p>	<p><b>事業内容</b></p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断</p>
<p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 株式会社 <b>First Arrows</b> ファーストアローズ</p>	